

## 第 6 章 計画の進行管理

## 6-1 計画の目標

以下に、施策毎の評価指標と目標値を設定する。

表 7 施策毎の評価指標と目標値の設定

基本方針	施策	評価指標	現状	目標値	実施時期
基本方針 1	1) 運行路線・ダイヤの柔軟な見直し検討	コミュニティバス利用者数	139,871 人/年	148,000 人/年	H30
		JR 利用者数	10,774 人/日 ※H29年11月 特定日	11,000 人/日	H30
	2) デマンド型交通の導入・予約方法改善	デマンド型交通の利用者数	3,949 人/年	5,000 人/年	H31
	3) 企画切符の販売	コミュニティバス利用者数	139,871 人/年	148,000 人/年	H30
	4) 総合時刻表の作成	コミュニティバス利用者数	139,871 人/年	148,000 人/年	H30
基本方針 2	1) デマンド型交通の拡充検討	交通空白地	85.7%	88.04%	H31
	2) 地域による自主運行等の検討	人口割合	H29	H34	H32
	3) フォローアップ調査	西当別道の駅線の利用者数	年間実績なし 実証運行中	7,000 人/年	H31
基本方針 3	1) モビリティ・マネジメント教育の実施	モビリティ・マネジメント教育の実施回数	2回/年 H29実績	4回/年 H34実績	H30
	2) リーフレット等の教材の作成				H31
	3) 長期休業と合わせた企画切符の販売	コミュニティバスの利用者数（長期休業期間）	44,607 人/年 H28実績	46,000 人/年	H30
	4) 高齢者向け冊子の作成	コミュニティバス利用者数	139,871 人/年	148,000 人/年	H30
	5) 高齢者クラブ等への講座の実施				H30
	6) 関係機関との連携	コミュニティバス利用者数	139,871 人/年	148,000 人/年	H30
基本方針 4	1) バスロケーションシステムの導入	定時性に関する満足度	38.0% H29調査	80.0% H34調査	H31
	2) デジタルサイネージの導入				H31
	3) バス路線周辺施設でのバス待ち可能化	待合可能施設数	7施設 H29	15施設 H34	H31
	4) 予約アプリの開発	デマンド型交通の利用者数	3,949 人/年	5,000 人/年	H31